




PICTET
 1805

Pictet Mirai Project

ピクテ・ミライ・プロジェクト

220年の歴史を持つピクテ・グループは、経営理念の中枢にある「サステナビリティ」のもと、さまざまな形で地域社会への還元に努めて参りました。

ピクテ・ミライ・プロジェクトは寄付を通じて日本の地域社会に還元し、日本のサステナブルな未来に貢献する取組みです。ピクテ・ジャパンが受取る収益（信託報酬）の一部を、対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて配分し、46道府県[※]の地域再生計画に基づく事業に寄付します。

当プロジェクトの主な寄付のテーマ



自然環境



教育



栄養



福祉



防災・復興



注：ピクテ・ジャパン（以下、当社）の本社所在地である東京都を除く46道府県 ※原則として、当社が受取る収益（信託報酬）の一部を、各金融機関における対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて、当該金融機関の本社所在地（道府県）に寄付します。また、本社所在地が東京都の金融機関における上記取扱い純資産総額に応じた分は、46道府県に均等配分し寄付します。2025年は約5,430万円の寄付を行います。※状況等により、上記の方針通りに寄付が行われない場合もあります。※2025年9月時点。将来見直しを行う可能性があります。

2025年度
寄付先事業例

山形県



東北農林専門職大学 教育・研究活用事業

東北初の農林業系専門職大学として、令和6年4月に開学した東北農林専門職大学は、教養や農林業経営に必要な知識・技術を身につけた人材を育成しています。これにより、国際情勢など時代の変化に対応した経営戦略を構築できる能力を養います。さらに、農林業に関する教育や研究の成果を地域社会に還元し、本県及び東北の農林業の発展と地方創生に貢献することを目指しています。

寄付先事業例のイメージ



授業風景①



授業風景②



大学外観

※上記はあくまでも寄付先事業例のイメージであり、実際とは異なる場合があります。

対象ファンド等の詳細は、
こちらをご覧ください。

皆様の温かいご支援のおかげで、対象ファンドのお取扱いが全国各地に広がり、ピクテ・ミライ・プロジェクトによる寄付を続けられていることを心より感謝申し上げます。今後も長きにわたって共に歩んできたネットワークを通じて、地域の皆様にファンド等を通じた、持続可能な社会に向けての取組みを継続してまいります。

